

1年社会は、**世界地理から学習**します。歴史の学習は地理がひと段落してからです。

# 1年社会科課題

その1・2両方  
**5/31(日)**  
完了を目標に  
進めましょう。

## その1 社会科ワーク(「**地理**の学習」)のすべてのページ

かいとう かいせつ こた ほんたい かいとう まるうつ  
**解答・解説の答えをワーク本体の解答らんに丸写しする。**

**必要なもの**：細い（0.4くらいがおすすめ）のオレンジ/ピンク/赤のペン  
（修正テープがあると安心）

ごじつ、く かいせつ と ほんたい、かいとう、まるうつ  
後日、繰り返し解くために赤シートで隠して問題を解けるようにします。

かくすう おお かんじ ようご  
画数の多い漢字の用語もあります。マーカーなどの太いペンは字がつぶれるので×！

提出は授業が始まってから提出日を指示いたします。

学習ノート2冊は、他の配布物も多く緊急性が低かったため、5/12の登校日に配布しませんでした。授業が開始したときに配布いたします。

### 手順&注意事項

- ・ワーク本体、解答・解説、**地理/歴史の学習ノート（計6冊）**には名前を書きましょう。
- ・解かなくてよいです。ただただ丸写ししてください。
- ・写すことで「この問いにはこの答え」のセットをまず知る、ということがこの課題の目的です。また、解答を書き込んでおくと問題を解いて○付けするときに解答・解説をいちいち開く手間がはぶけます。
- ・色ペンで書きます。字を写し間違えないように解答をしっかりと見て書いてください。初めて知る用語は間違えやすいので注意！習ったことのない漢字、難しい漢字でもそのまま書きます。もし間違えたらぐちゃぐちゃにせず、修正テープを使うか二重線で訂正して直してください。（きちんと写せているか、お家の方に見てもらってもよいでしょう）
- ・解説をじっくり読んだり、難しい語句の「なぜって確認」はこのときにぜひやってください。
- ・ただ写すだけですが、分量は**79ページ分**と多いです。毎日計画的に進めましょう。  
目次の項目に日付を入れながら進めるとやった実感がわいて、がんばれますヨ。

※ もし早めに終了してしまったら、「歴史の学習」も同じように進めてもよいです。

※ 興味のある単元は、教科書を読んで理解を深めるのもよいです。

※ **本格的なワークの問題演習は、今回の必修課題ではありません。**丸写し作業がすべて終わってから、ワーク別冊の「地理の学習ノート」で行います。（歴史は「歴史の学習ノート」）

※ 「歴史の学習」の答え丸写しまで終わってしまったら、地理の演習にチャレンジしてもよいです。

①問題を解いて、②○付けをして、③どの問題を間違えたか、ワーク本体にチェックマークを入れるまでが問題演習です。

このプリントの最後に社会科でのワークの使い方を載せました。

## その2 現代社会：コロナ問題の“前”と“後”をまとめよう

今起こっているコロナ問題は、間違いなく今後の社会科の教科書に載るレベルの出来事となっています。皆さんは、歴史の当事者であり、目撃者なのです。

そこで、このコロナ問題がどんなものであるか。どんな風に世の中が変わってしまったか。「見える化」してみましょう。まずは自分の身の回りから、生活はどのように変わりましたか。また日本でも別の地域では。他の国は。世界全体はどのようになっているか。連日ニュースで報道されています。また、インターネットを利用してコロナ問題の様々な情報を入手できます。

改めて意識してニュースを見ると、あなたのなにかがちょっと変わるかもしれません。

タイトル

いい感じのタイトルを自分で考えよう

1年 組 番

氏名： フルネームで

自分の身近では

最後に考えるとイイのができそう

どんな風に生活が変わったかまとめましょう。  
自分は？ 家族は？ どうだろう。

コロナ“後”から家でこんなことが変わった

困ったこと・よかったこと

などをこのわくに100字以上見やすく書きましょう。

手書きでつくろう。  
色を使って見やすく！  
イラストや図を書いたり、  
写真を貼ってもいいです。

身近から少し離れた  
地域 / 国内

では

身近から少し離れたところ（例：〇〇県、〇〇府、北海道、日本国内）を自分で1つ選んで

コロナ“後”に変化したこと、コロナ問題での地域や国の取り組みや人々の取り組みについて

1～3つくらい取り上げる 合わせて100字以上見やすく書きましょう。

身近からとばい  
国 / 世界

では

身近から遠いところ（例：アメリカ、ヨーロッパ、アジアの国、国連（WHO）など）を自分で1つ選んで、

コロナ“後”に変化したこと  
コロナ問題での地域や国の取り組みや人々の取り組みを

1, 2つくらい取り上げる

合わせて100字以上見やすく書きましょう。

コロナ問題に関係する「気になる言葉」

自分の気になっている語句

言葉の解説

↑に書いた語句のことをくわしく調べて説明する  
50字以上

調べてみて考えたこと  
30字以上

具体的に、くわしく、書いてあるほどよき！

× 調べられてよかった。 △マスク不足の対応について知れてよかった  
○/◎ 調べて感じた疑問、自分なりの今後の改善案、など深いほど高評価

タイトル	1年 組 番 氏名：
自分の身近では	
では	
では	コロナ問題に関する「気になる言葉」 言葉の解説
調べてみて考えたこと	

いそがしい  
アナタに送る!

## 社会科 ワークの使い方 効率重視バージョン

社会科の授業は好きだけど、テストになると解けなくて困る、という勉強の悩みをよく聞きます。中学校の定期テストや高校受検では、なんだかんだで試験範囲の内容を覚えていないとできないものが多く、暗記が苦手な人はどんどん苦境に追い込まれてしまう・・・。

この“社会科あるある”を何とかするために活用したいのが副教材のワークです。教科書の内容のポイントを問題形式で解くことで内容を身につける教材です。小学校でのドリルみたいなものです。

ワークは教科書のポイントを押さえることに特化している教材なので、ワークだけを学習すればテストで100点満点をとれるというわけではありません。それでも、しっかりワークの内容がしっかり身につけられているとテストで何を答えるのか理解できて、正解もしやすくなります。そうなるとう解答用紙にマルが多くなり、そこそこ得点が増えます。目に見えて成果が出れば、もっとがんばってみようとする気も出てきて、自分なりに学習を工夫してさらに力を伸ばすきっかけになるでしょう。

ところが、他の教科の学習や部活動、習い事、友達との時間、(家で家事手伝いも?)・・・中学生はけっこう忙しい。教科書や資料集やノートをいちいち開いてじっくり読みながら社会科のワークを解く時間をなかなか確保できないという人が多いようです。

先生としても、他の教科の学習もがんばってもらいたいし、社会のワークだけに時間を浪費するより、さらに発展した学習に時間を使ってほしいと思います。インターネットで検索して調べたり、歴史小説など関連本を読んで知識を広げて深める。博物館や美術館、時間やお金に余裕があれば、現地へ行ってみて学ぶのもよいですね。百聞は一見に如かずといえますし。

というわけで、社会科では、できるだけ短時間でワークに取り組む方法でワーク学習を進めていきたいと思えます。

この方法で手ごたえを感じられたら、他の教科などにも応用できますので、活用してください。

できる問題は何度も解く必要ありません。  
できないものに時間をかけましょう。

### スタート

#### (1) 道具の用意

- ワーク本体/解答・解説
- 演習用ノート ○赤シート
- 細い色ペン(赤/オレンジ/ピンク)
- 修正テープ
- えんぴつ ○消しゴム

#### (2) 答えを知る

ワーク本体に赤シートでかくせる色(赤/オレンジ/ピンク)のペンで解答をまる写しする。この作業で問いの内容と答えのセットとして1回覚えます。

#### (3) 解く(1回目)

ワーク本体の答えを赤シートでかくして、別冊の学習ノートに範囲(単元/試験範囲)分まとめて問題を解く。

#### (4) マル付け(1回目)

解いた分のマル付けをする。間違えたものだけ、ワーク本体の問題番号に印をつける。

#### (5) 解く(2回目)

ワーク本体の答えを赤シートでかくして、学習ノートと別のノートや紙に間違えた問題だけ解く。

#### (6) マル付け(2回目)

解いた分のマル付けをする。間違えたものだけ、ワーク本体の問題番号にまた印をつける。

2回目または3回目のどちらかで  
※ 間違えたものだけ  
勉強し直そう

2回または3回間違えたものは、いちど教科書や資料集、授業のノートやインターネットを使って勉強し直す。

答えを一度書いて知っているはずなので、調べたり答えを見たりせず、本気で解きましょう!何ができて、何が頭に入っていないかを確認する1回目です。間違ってもOK!マル付けしないと意味が半分以上ないので、マル付けとどこ間違えたかチェックは必ず!

#### (7) 解く(3回目)

ワーク本体の答えを赤シートでかくして、学習ノートと別のノートや紙に2回とも間違えた問題だけ解く。

#### (8) マル付け(3回目)

解いた分のマル付けをする。間違えたものだけ、ワーク本体の問題番号にさらに印をつける。⇒アナタの苦手が明確に

#### (9) 解く(4回目)

3回とも間違えたものだけ解く

#### (10) マル付け(4回目)

解いた分のマル付けをする。4周もするとほとんどの内容が頭に入る・・・ハズ。

ゴール!